

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： しの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長 6918-1
評価実施期間：平成30年9月1日から平成30年12月20日 * 契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B16023, B18054	

2 福祉サービス事業者情報（平成30年9月現在）

事業所名：社会福祉法人 明星会 （施設名）第二明星学園	種別： 障害者支援施設	
代表者氏名： 総園長 宮下 智 （管理者氏名） 園長 宮下 智	定員（利用人数）：名 60名	
設置主体：社会福祉法人 明星会 経営主体：社会福祉法人 明星会	開設（指定）年月日： 昭和54年4月1日	
所在地：〒399-2561 長野県飯田市駄科 2250 番地		
電話番号：0265-26-9456	FAX 番号：0265-26-9094	
ホームページアドレス： URL http://www.myojo-gakuen.or.jp/index.html		
職員数	常勤職員： 38 名 非常勤職員 10 名	
専門職員	生活支援員 38名 生活支援員 10名	
	看護師 1名	
	介護福祉士 1名	
施設・設備 の概要	（居室数） 48 （設備等）	
	個室 36・二人部屋 12 基準設備	

3 理念・基本方針

（法人基本理念）

- ・「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供に努めます。
- ・重度の障がい者に特化した活動の場の提供に努めます。
- ・「自己選択」を尊重した意思決定支援に努めます。

（基本方針）

- ・“お心主義” に基づく、利用者の「自己選択」を尊重した、意思決定支援に努めています。障がい者の支援に終わりはありません！ “本当の気持ち” にいつか、きっと出会えることを信じて、『みんな幸せになりたい、あなたも私も』をスローガンに、職員一同、日々挑戦を続けています。

「どんな人でも変わっていくことが出来る」それが私たちの信念です。

（事業所運営方針）

- ・「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行っていきます。

また、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の存在を認め合う[共生社会の実現]に向けて、利用者ひとり一人の「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。
家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上を目指してまいります。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

・重い知的障害の方々の生活棟 30 名を含む 60 名が入所。平均年齢 48.2 才である。
日中活動として、薪や腐葉土の作成と販売、プランターでの野菜作り、空き缶つぶしなどの軽作業やアート活動、アロマセラピー、運動、音楽、ドライブなど様々な選択肢を用意し、「癒し」「ゆとり」「生きがい」を心掛けながら充実した生活を営んでいる。また、利用者が提案した地域のイベントに“わくわくハピネス”という名称をつけ、多くの利用者を誘い合って参加している。さらに旅行、外出など自己選択のための機会を提供していて、中でも旅行は、担任職員と安心して長い時間を過ごせる貴重な時間となっている。また、常に健康で明るい生活が出来るよう医療と連携を密にしている。在宅からの通所者もあり、学園で提供する日中活動を入所者の方々と一緒に活動し、充実した時間を過ごしている。 ※腐葉土の作成は、今年から行っていません。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回（平成 年度）
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

- ① 一体的な経営運営がされている。
 - ・解りやすい「理念・憲章・行動基準」が明記され、周知徹底を心掛けている。
 - ・就業規定・労働条件が明記され、人材育成・確保に取り組んでいる。
 - ・知的障がい・自閉症の方パーソンセンタード(本人中心)の支援を基本としている。
 - ・法人一体となり「お心主義」の信念で「意思決定支援」を行っている。
- ② 利用者のニーズに適切に対応できる仕組みが確立している。
 - ・自己選択を尊重した意思決定支援が行われている。
 - ・利用者の希望に沿った支援が行われている。
 - ・利用者の余暇活動に加え、地域行事等視野に入れ、新たな余暇活動の場を検討している。
 - ・家族会・兄弟会と十分な連絡調整をしながら家族と円滑な交流が継続できるよう、利用者の近況や想いを伝えている。
- ③ 法人組織として、利用者支援の仕組みが確立している。
 - ・法人として支援等マニュアル集が作成されており、支援の統一が図られている。
 - ・支援マニュアルは 40 項目細分化され、特に感染症・災害時・医療的は、時系列で提示され、報告・連絡・協力体制が明文化されている。
 - ・個別支援に添った質の高いサービス提供がされている。
 - ・利用者に季節感のあるサービス、季節サービスを提供している。
 - ・日中活動の充実を図るべく、言語聴覚士・理学療法士・アート活動・アニマルセラピー等専門指導を行っている。

◇ 特に改善する必要があると思う点

① 理念・基本方針の情報の周知、共有の工夫をさらに図ることを望みます。

- ・ 法人の理念・基本方針は明文化されグランドデザイン、事業計画の中長期計画も冊子として公表されて、説明もされていますが、一般職員や利用者には周知されていない事が、事業所評価調査、利用者聞き取り調査の結果に表れています。文面の工夫、掲示方法、説明方法等配慮工夫が望まれます。

② 提供する福祉サービスの標準的サービスの実施方法の見直しの仕組み整備を望みます。

- ・ 提供されるサービスの標準的方法は明文化されておりますが、利用者聞き取り調査や、事業所評価調査のコメントに、プライバシー保護、人権擁護の徹底の声が聞かれました。利用者聞き取り調査でも、入浴時の同性介護を希望されていました。職員の勤務体制で困難かと思いますが、改善のご検討を望みます。

7 事業評価の結果（詳細）と講評（別添 1.2）

- ・ 共通項目
- ・ 内容評価項目

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合（別添 3 - 2）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）